

数値計算 小テスト 1,2 時限

1. 以下の文が正しい場合は○, 誤っている場合は×を記せ. (1点×5=5点)

- (a) 有限要素法における剛性行列 K は正則である.
- (b) 一次元のビームの動的な伸縮変形に関する運動エネルギーを, 有限要素法で近似する. このとき運動エネルギーは, 節点の変位から成るベクトルの時間微分 $\dot{\mathbf{u}}_N$ の二次形式で表される.
- (c) 制約付き最小化

$$\min f(\mathbf{x}) \quad \text{subject to } g_1(\mathbf{x}) = 0, \quad g_2(\mathbf{x}) = 0$$

を制約なし最小化に変換すると

$$\min J(\mathbf{x}, \lambda) = f(\mathbf{x}) + \lambda g_1(\mathbf{x}) + \lambda g_2(\mathbf{x})$$

である.

- (d) 射影行列 P に対して, $P^2 = P$ が成り立つ.
- (e) QR 分解において, 行列 R は上三角行列である.

2. 関数 $f(x)$ において

$$f(10) = 2, \quad f(11) = 0, \quad \frac{df}{dx}(10) = -1, \quad \frac{df}{dx}(11) = 1$$

である. スプライン補間を用いて, $f(10.5)$ の値を求めよ. (5点)

3. 以下の行列の射影行列を求めよ. (5点)

$$A = \begin{bmatrix} 4 & -6 & 0 \\ -2 & 3 & 0 \\ 1 & -2 & -1 \\ -1 & 2 & 1 \\ -1 & 2 & 1 \end{bmatrix}$$

4. 一次関数 $N_{i,j}(x)$ は $N_{i,j}(x_i) = 1$, $N_{i,j}(x_j) = 0$ を満たす. このとき

$$\int_{x_i}^{x_j} \{N_{i,j}(x)\}^2 dx = \frac{1}{3}(x_j - x_i)$$

が成り立つことを示せ. (5点)

数値計算 小テスト 3,4 時限

1. 以下の文が正しい場合は○, 誤っている場合は×を記せ. (1点×5=5点)

- (a) QR 分解において, 行列 Q は直交行列である.
- (b) 一次元のビームの動的な伸縮変形に関する運動エネルギーを, 有限要素法で近似する. このとき運動エネルギーは, 節点の変位から成るベクトル \mathbf{u}_N の二次形式で表される.
- (c) 有限要素法における慣性行列 M は正則である.
- (d) 制約付き最小化

$$\min f(\mathbf{x}) \quad \text{subject to } g_1(\mathbf{x}) = 0, \quad g_2(\mathbf{x}) = 0$$

を制約なし最小化に変換すると

$$\min J(\mathbf{x}, \lambda_1, \lambda_2) = f(\mathbf{x}) + \lambda_1 g_1(\mathbf{x}) + \lambda_2 g_2(\mathbf{x})$$

である.

- (e) 射影行列 P に対して, $P^{-1} = P$ が成り立つ.

2. 以下の行列の射影行列を求めよ. (5点)

$$A = \begin{bmatrix} 1 & 3 & 1 \\ -1 & -3 & -1 \\ 2 & -2 & 0 \\ 1 & 3 & 1 \\ 1 & -1 & 0 \end{bmatrix}$$

3. 関数 $f(x)$ において

$$f(8) = 1, \quad f(9) = 2, \quad \frac{df}{dx}(8) = 0, \quad \frac{df}{dx}(9) = -1$$

である. スプライン補間を用いて, $f(8.5)$ の値を求めよ. (5点)

4. 一次関数 $N_{i,j}(x)$ は $N_{i,j}(x_i) = 1, N_{i,j}(x_j) = 0$ を満たす. 一次関数 $N_{j,i}(x)$ は $N_{j,i}(x_i) = 0, N_{j,i}(x_j) = 1$ を満たす. このとき

$$\int_{x_i}^{x_j} N_{i,j}(x)N_{j,i}(x) dx = \frac{1}{6}(x_j - x_i)$$

が成り立つことを示せ. (5点)